

## お礼の言葉

本日ここに、恵庭消防創設100周年記念式典を挙行了いたしましたところ、ご来賓をはじめ、多数の皆様のご臨席を賜り、消防職・団員を代表いたしまして心より感謝を申し上げます。

この記念すべき年を迎えるにあたり、私ども消防職・団員に課せられた責務や使命の重要性を改めて感じたところであります。

先人の皆様が築かれた100年という伝統ある歴史を胸に刻みながら、市民の安全・安心を確保するとともに市民からの期待と信頼に応えられるよう、さらに精進して参る所存でございますので、尚一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。終わりになりますが、ご来賓をはじめ、ご臨席いただきました皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、お礼の言葉といたします。

令和5年10月26日

恵庭市消防団長 中島 一雄



# 恵庭消防創設

# 100周年記念式典

とき 令和5年10月26日(木) 14時

ところ 恵庭市民会館 (大ホール)



# 恵庭消防創設 100 周年記念式典

## 式次第

### 1 開 式

～ 黙 と う ～

### 2 国歌斉唱

3 式 辞 恵庭市長 原田 裕

寿 祝 辞 北海道知事 鈴木 直道 様  
衆議院議員 和田 義明 様  
恵庭市議会議長 長谷 文子 様

5 感謝状贈呈 消防団協力事業所 6 社

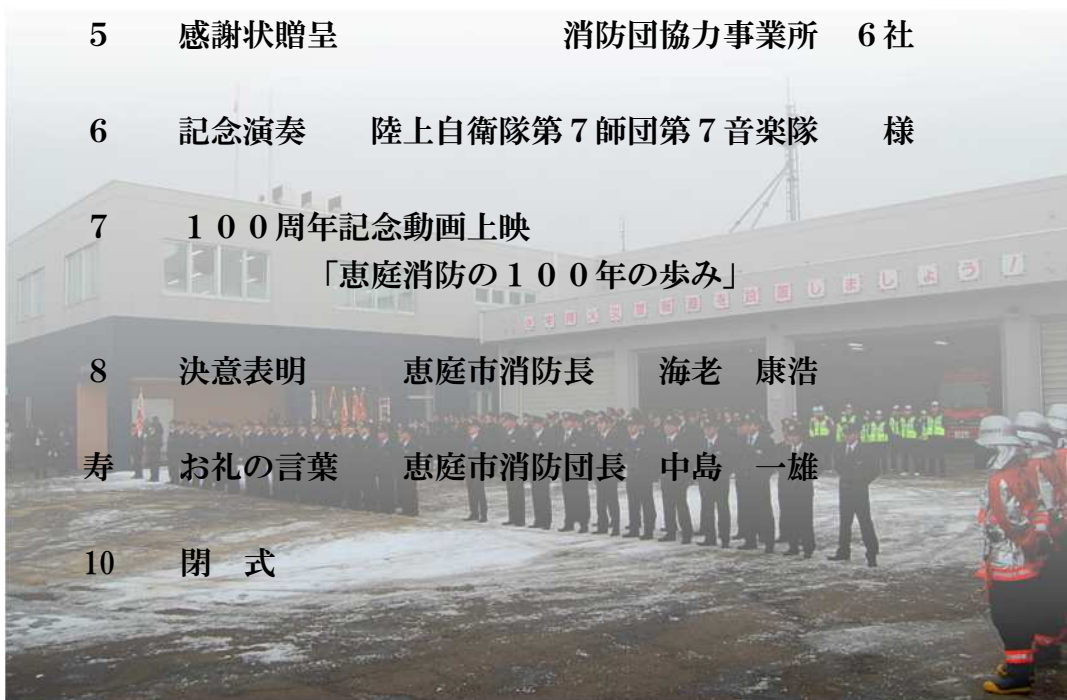
6 記念演奏 陸上自衛隊第7師団第7音楽隊 様

7 100周年記念動画上映  
「恵庭消防の100年の歩み」

8 決意表明 恵庭市消防長 海老 康浩

寿 お礼の言葉 恵庭市消防団長 中島 一雄

10 閉 式



## 決意表明

恵庭消防創設100周年記念式典の挙行にあたり、消防職・団員を代表し、恵庭消防の決意を表明いたします。大正12年4月に恵庭村消防組が発足されてから、本年度で100年を迎えますが、この間、先輩諸氏は幾多の災害や困難に遭遇しつつも、恵庭の人々の安心、安全な暮らしを守るために、昼夜を問わず困難を克服して郷土の発展に尽力され、今日の消防体制の礎を築き上げていただきました。

大正、昭和、平成、令和と時代は移り変わりましたが、その献身的で勇猛果敢な消防魂は、今後も私たち一人一人が未来に引き継いでいかなければならないと強く感じているところであり、恵庭消防の輝かしい歴史と伝統を築き上げた先人・諸先輩方のご労苦と偉業に対しまして深く感謝と敬意を申し上げます。

現在の恵庭市は、全道においても稀にみる人口が増加している地域であり、自衛隊3施設が駐屯する中で地域が守られ、花のまちとしても全国的に知られる人口7万人を超えるまちへと発展を遂げましたが、その一方で都市構造や気象現象の変化により、各種災害は複雑多様化、大規模化しており、消防を取り巻く環境は益々厳しいものになってきている中、消防に課せられた任務や責任の重大さを痛感いたすところであります。

これからも私たち消防職・団員は、この100周年を契機として更なる一致団結し、消防力の充実強化を図るとともに、近隣の消防本部をはじめ、自衛隊、警察、北海道などの防災関係機関との連携を図りながら、引き続き恵庭市危険物安全協会や恵庭市幼少年婦人防火協議会など消防関係団体の協力を得て、恵庭消防としての使命達成に全力で取り組んで参ります。

結びに、消防職・団員一同は、市民の生命、身体、財産を守り、市民の期待と信頼に応え、市民の皆様が安心して生活が送れる住みよい街づくりを目指し、今後も組織一丸となって邁進することを、ここに決意いたします。

恵庭市消防長 海老 康浩